

簿記2級学習のための 3級思い出しセミナー

担当講師:上原 康司

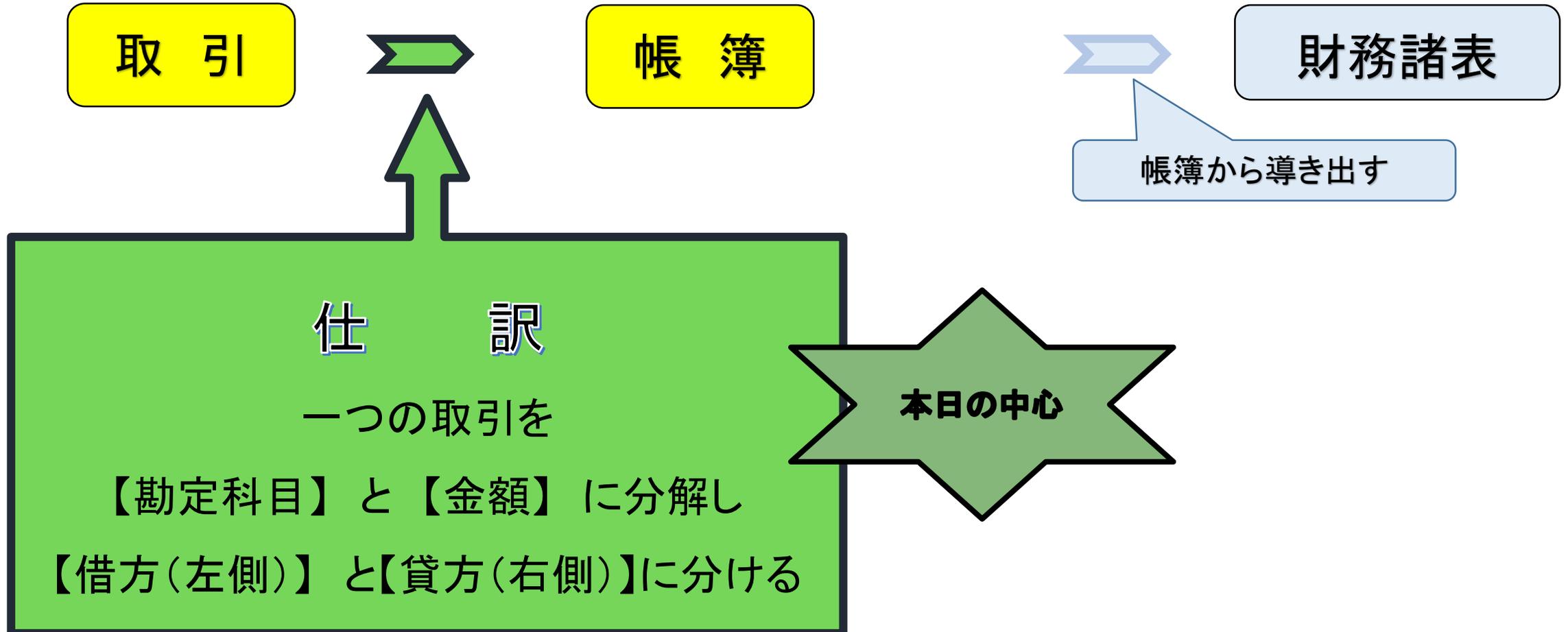
簿記学習は 積み重ね！

1級(大規模 株式会社)	商業簿記	会計学
	工業簿記	原価計算

2級(中規模 株式会社)	商品売買業	: 商業簿記
	製造業	: 工業簿記

3級(小規模 株式会社)	商品売買業	: 商業簿記
--------------	-------	--------

簿記検定試験の範囲



簿記の5要素とその増減

資 産	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
負 債	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
資本 (純資産)	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
収 益	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
費 用	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加

簿記の5要素とその増減

資 産	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
負 債	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
資本 (純資産)	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
収 益	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加
費 用	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加

財務諸表

貸借対照表

損益計算書

財務諸表

貸借対照表

資 産	負 債
	資 本 (純資産)

損益計算書

費 用	収 益
(当期純利益)	

次の取引の仕訳をしなさい。

約1分間



(問0) 商品 ¥100を仕入れ、代金は現金で支払った。

現金	当座預金	売掛金	買掛金	売上	仕入
----	------	-----	-----	----	----

勘定科目の参考

仕入 100 / 現金 100

皆さんのノートは
こんな感じで

解答は約1分後に出します
そして、次のページで...

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	100	現金	100

次のページで
解説を一緒に

勘定科目の
5要素の確認
なども

(答0) **商品** ¥100を仕入れ、代金は**現金**で支払った。

費用

資産

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	100	現金	100

それでは始めましょう・・・
よろしくお願いいたします！



次の取引の仕訳をしなさい。

(問1) CAT(株)は、銀行から現金 ¥ 500を借り入れた。

現金	当座預金	売掛金	買掛金	借入金	資本金
----	------	-----	-----	-----	-----

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	500	借入金	500

(答1) CAT(株)は、銀行から現金 ¥500を借り入れた。

CAT(株)

銀行

資産		負債	
借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	500	借入金	500



次の取引の仕訳をしなさい。

(問2) 商品 ¥500を仕入れ、代金の内 ¥200は小切手を振り出して支払った。残額は、月末に支払うこととなった。

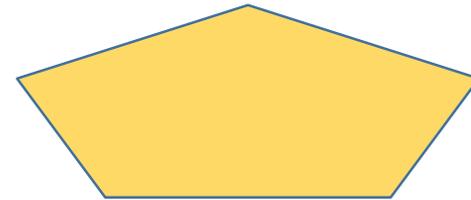
現金	当座預金	売掛金	買掛金	売上	仕入
----	------	-----	-----	----	----

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	500	当座預金	200
		買掛金	300

(答2) 商品 ¥500を仕入れ、代金の内 ¥200は小切手を振り出して支払った。残額は、月末に支払うこととなった。

費用		資産		負債	
借方科目	金額	貸方科目	金額	借方科目	金額
仕入	500	当座預金	200		
		買掛金	300		

(解説 2) 商品 ¥500を仕入れ、代金の内 ¥200は小切手を振り出して支払った。残額は、月末に支払うこととなった。



借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	500	当座預金	200
		買掛金	300



次の取引の仕訳をしなさい。

(問3) 注文を受けていた商品 ¥500を発送した。代金は注文時に受け取っていた手付金 ¥100を控除し、残額を来月末に受け取ることにした。

現金	前払金	売掛金	前受金	売上	仕入
----	-----	-----	-----	----	----

借方科目	金額	貸方科目	金額
前受金	100	売上	500
売掛金	400		

(答3) 注文を受けていた商品 ¥500を発送した。代金は注文時に受け取っていた手付金 ¥100を控除し、残額を来月末に受け取ることにした。

負債		資産		収益	
借方科目	金額	貸方科目	金額		
前受金	100	売上	500		
売掛金	400				

(解説 3) 注文を受けていた商品 ¥500 を発送した。代金は注文時に受け取っていた手付金 ¥100 を控除し、残額を来月末に受け取ることにした。



借方科目	金額	貸方科目	金額
前受金	100	売上	500
売掛金	400		



START

次の取引の仕訳をしなさい。

(問4) 配送用トラック ¥1,500を購入し、代金は翌月末に当社の当座預金口座から自動車販売会社の普通預金口座へ振り込むこととした。

現金	当座預金	普通預金	車両運搬具	買掛金	未払金
----	------	------	-------	-----	-----

借方科目	金額	貸方科目	金額
車両運搬具	1,500	未払金	1,500

(答4) **配送用トラック** ¥1,500を購入し、**代金は翌月末に当社の当座預金口座から自動車販売会社の普通預金口座へ振り込むこととした。**

資 産		負 債	
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
車両運搬具	1,500	未 払 金	1,500

(解説4) 配送用トラック ¥1,500を購入し、代金は翌月末に当社の当座預金口座から自動車販売会社の普通預金口座へ振り込むこととした。



借方科目	金額	貸方科目	金額
車両運搬具	1,500	未払金	1,500



次の取引の仕訳をしなさい。

(問5) 売掛金 ¥1,000の回収として、得意先振出の小切手 ¥600と
約束手形 ¥400を受け取った。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	支払手形	売上
----	------	------	-----	------	----

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	600	売掛金	1,000
受取手形	400		

(答5) 売掛金 ¥1,000 の回収として、得意先振出の小切手 ¥600 と
約束手形 ¥400 を受け取った。

借方科目		金額	貸方科目		金額
現金		600	売掛金		1,000
受取手形		400			

資産

資産

資産

(解説5) 売掛金 ¥1,000 の回収として、得意先振出の小切手 ¥600 と
約束手形 ¥400 を受け取った。



借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	600	売掛金	1,000
受取手形	400		

《解説 1》

現金a/c : 通貨 と 通貨代用証券(※)

通貨代用証券(※) : 他社振出小切手
郵便為替証書
送金小切手

代金の後払い : 商品代金・・・売掛金a/c 買掛金a/c
商品以外・・・未収入金a/c 未払金a/c

《解説 2》

約束手形 : 商品代金・・・受取手形a/c 支払手形a/c

資金貸借・・・手形貸付金a/c 手形借入金a/c



START

次の取引の仕訳をしなさい。

(問6)出張中の従業員が帰社し、旅費交通費の精算を行い、概算払いしていた¥500より¥150不足していたので、現金で支払った。

現金	貸付金	立替金	仮払金	仮受金	旅費交通費
----	-----	-----	-----	-----	-------

借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費交通費	650	仮払金	500
		現金	150

(答6)出張中の従業員が帰社し、**旅費交通費**の精算を行い、**概算払い**していた¥500より¥150不足していたので、**現金**で支払った。

費用		資産		資産	
借方科目	金額	貸方科目	金額	金額	
旅費交通費	650	仮払金	500		
		現金	150		

(解説6)出張中の従業員が帰社し、旅費交通費の精算を行い、概算払いしていた¥500より¥150不足していたので、現金で支払った。



借方科目	金額	貸方科目	金額
旅費交通費	650	仮払金	500
		現金	150



START

次の取引の仕訳をしなさい。

(問7) 得意先が倒産し、前期に生じた売掛金 ¥ 1,000 が回収不能となった。

なお、貸倒引当金の残高が ¥ 800 ある。

当座預金	受取手形	売掛金	貸倒引当金	貸倒損失	租税公課
------	------	-----	-------	------	------

借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	800	売掛金	1,000
貸倒損失	200		

(答7) 得意先が倒産し、前期に生じた**売掛金** ¥1,000が**回収不能**となった。

なお、**貸倒引当金**の残高が¥800ある。

借方科目		貸方科目	
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	800	売掛金	1,000
貸倒損失	200		

資産の△

費用

資産

(解説7) 得意先が倒産し、前期に生じた**売掛金** ¥1,000が**回収不能**となった。なお、**貸倒引当金**の残高が¥800ある。



借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金	800	売掛金	1,000
貸倒損失	200		



START

次の決算整理仕訳をしなさい。

(問8) 決算にあたり金庫の中を実査したところ、次のものがあつた。

紙幣・硬貨 ¥ 600、得意先振出の小切手 ¥ 350、

得意先振出の約束手形 ¥ 100

なお、現金勘定の残高は ¥ 1,000 で、不一致の原因は不明である。

現金	当座預金	受取手形	貯蔵品	通信費	雑損
----	------	------	-----	-----	----

借方科目	金額	貸方科目	金額
雑 損	50	現 金	50

(答8) 決算にあたり金庫の中を実査したところ、次のものがあつた。

紙幣・硬貨 ¥ 600、**得意先振出の小切手** ¥ 350、

得意先振出の約束手形 ¥ 100

なお、現金勘定の残高は ¥ 1,000で、**不一致の原因は不明**である。

費用		資産	
借方科目	金額	貸方科目	金額
雑損	50	現金	50

(解説8) 決算にあたり金庫の中を実査したところ、次のものがあつた。

紙幣・硬貨 ¥ 600、得意先振出の小切手 ¥ 350、

得意先振出の約束手形 ¥ 100

なお、現金勘定の残高は ¥ 1,000で、**不一致の原因は不明**である。

借方科目	金額	貸方科目	金額
雑 損	50	現 金	50

次の決算整理仕訳をしなさい。



(問9) 決算にあたり、売上債権(受取手形と売掛金)期末残高に対し2%の貸倒れを見積もる。

期末残高: 受取手形 ￥800 , 売掛金 ￥1,200
貸倒引当金 ￥30

受取手形	売掛金	貸倒引当金	貸倒引当金繰入	貸倒損失	雑 損
------	-----	-------	---------	------	-----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
貸倒引当金繰入	10	貸倒引当金	10

(答9) 決算にあたり,売上債権(受取手形と売掛金)期末残高に対し2%の貸倒れを見積もる。

期末残高: 受取手形 ¥800 , 売掛金 ¥1,200

貸倒引当金 ¥30

費用		資産	
借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金繰入	10	貸倒引当金	10

(解説9) 決算にあたり、売上債権(受取手形と売掛金)期末残高に対し2%の貸倒れを見積もる。

期末残高: 受取手形 ¥800 , 売掛金 ¥1,200

貸倒引当金 ¥30

借方科目	金額	貸方科目	金額
貸倒引当金繰入	10	貸倒引当金	10

次の決算整理仕訳をしなさい。



(問10) 決算にあたり、決算修正仕訳を行う。(会計期間は、×1年4月1日から×2年3月31日まで)

保険料勘定の¥1,200は、×1年10月1日に支払った向こう1年分である。

現金	当座預金	前払費用	未払費用	保険料	雑費
----	------	------	------	-----	----

借方科目	金額	貸方科目	金額
前払費用	600	保険料	600

(答10) 決算にあたり, 決算修正仕訳を行う。(会計期間は、×1年4月1日から×2年3月31日まで)

保険料勘定の¥1,200は、×1年10月1日に支払った向こう1年分である。

資 産		費 用	
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
前払費用	600	保険料	600

(解説10) 決算にあたり, 決算修正仕訳を行う。(会計期間は、×1年4月1日から×2年3月31日まで)
保険料勘定の¥1,200は、×1年10月1日に支払った向こう1年分である。

借方科目	金額	貸方科目	金額
前払費用	600	保険料	600

次の決算整理仕訳をしなさい。



(問11) 売上原価を仕入勘定で計算する。
なお、期首商品棚卸高は¥500、期末商品棚卸高は¥600であった。
三分法により記帳する。

現金	繰越商品	買掛金	売上	仕入	売上原価
----	------	-----	----	----	------

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	500	繰越商品	500
繰越商品	600	仕入	600

(答11) 売上原価を仕入勘定で計算する。

なお、期首商品棚卸高は¥500、期末商品棚卸高は¥600であった。
三分法により記帳する。

資産		費用		資産		費用	
借方科目	金額	貸方科目	金額	借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	500	繰越商品	500	繰越商品	600	仕入	600

(解説11) 売上原価を仕入勘定で計算する。(三分法)

なお、期首商品棚卸高は ¥500、期末商品棚卸高は ¥600であった。

期首商品棚卸高は 500 + 当期商品仕入高 1,000 - 期末商品棚卸高 600
--

繰越商品

前期繰越 500

仕 入

前期繰越 1,000

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕 入	500	繰越商品	500
繰越商品	600	仕 入	600

次の決算振替仕訳をしなさい。



(問12) 決算整理後の勘定残高(一部)は次のとおりであった。
よって決算振替仕訳を行う。

仕入 ¥ 900 支払家賃 ¥ 120

現金	繰越商品	未払金	仕入	支払家賃	損益
----	------	-----	----	------	----

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	1,020	仕入	900
		支払家賃	120

(答12) 決算整理後の勘定残高(一部)は次のとおりであった。
よって決算振替仕訳を行う。

仕入 ¥ 900 支払家賃 ¥ 120

借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	1,020	仕入	900
		支払家賃	120

収益 と費用 を集める勘定

費用

費用

(解説12) 決算整理後の勘定残高(一部)は次のとおりであった。

よって決算振替仕訳を行う。 仕入 ¥ 900 支払家賃 ¥ 120



借方科目	金額	貸方科目	金額
損益	1,020	仕入	900
		支払家賃	120

決算の手続き

1. 前T/B
2. 決算整理仕訳
3. 後T/B
4. 帳簿の締め切り
 - (1) 損益勘定の設定
 - (2) (1)へ全収益^{a/c}・全費用^{a/c}を振替
 - (3) (2)の残高を繰越利益剰余金^{a/c}へ振替
 - (4) 勘定の締め切り
5. 繰越T/B
6. 財務諸表の作成

2021年度から新形式の試験に

～2級の新形式について～

【1】 試験時間

120分 ⇒ 90分

【2】 ネット試験の開始

統一試験 = 従来からの試験方式（紙）

ネット試験 = コンピュータ上

【3】 統一試験

- ◇ 全国一斉 6月、11月、2月 に実施
- ◇ 試験会場は会議所指定の場所
- ◇ 合格発表 2～3週間後
- ◇ 試験問題・計算用紙は持ち帰り不可

【4】 ネット試験

- ◇ 随時実施 (CBT-Solutions へ予約)
- ◇ 試験会場は CBT-S のテストセンター
- ◇ 合格発表 試験終了直後
- ◇ 試験問題・計算用紙は持ち帰り不可

【2級対策】

・簿記2級を着実に学習したい!

➡ 2級合格本科生【2022年6月統一試験目標】



・簿記3級を振り返りつつ着実に学習したい!

➡ 2級ダイレクト合格本科生【2022年6月統一試験目標】

簿記初学者にもオススメ!
3級はネット試験で腕試しも!



2級対策【体験入学】

梅田校・・・1/5（水）18：50～21：35 商簿①（予約不要）

※関西4校舎：12月上旬2級対策開講・追いつき受講可能
（詳細は受付へお問い合わせください。）

ビデオブース（各校舎）・・・随時視聴可（要予約）

動画（ホームページより）・・・随時視聴可

2級商業簿記講義

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/tacchannel/002IQB2SK00100.html

2級工業簿記講義

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/tacchannel/002IQB2K000100.html

★ TAC 簿記検定講座 冬の特割キャンペーン実施中 (～12/27(月)まで)

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_lp01.html

★TAC 簿記検定 教室講座日程表サイト

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_nittei.html

★TAC セミナー/講座説明会/体験入学 案内サイト

<https://www.tac-school.co.jp/guidance.html>

★ TAC 個別受講相談予約サイト(西日本地区)

<https://www.tac-school.co.jp/west/soudan.html>